

櫻守の会

2024年7月号

2024年7月1日（通巻302号）
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 96名（6月25日現在）
HP：<https://www.sakuramori.net/>

～今ここにある危険～（やりがいのある非日常的な活動）

藤本 正雄

皆さんよくご存じのアメリカのアクション映画でハリソン・フォード主演「今ここにある危機」というのがありますが、これは麻薬戦争を題材にしたものです。私たちの活動はこの映画のような「危機」ではなく、山中での活動は常に「今ここにある危険」と隣り合わせであり、それ故に気を許すことなく、その大敵となる「慣れ」と「油断」を払拭する必要があると思います。

1. 山には危険がいっぱいを再認識（常に最悪に備える）

ここ数年、各地で大きな災害が発生し甚大な被害が出ています。今では、災害は「忘れた頃にやってくる」ではなく「忘れる間もなく必ずやってくる」とよく言われています。また、人的要因での事故は一瞬の「判断ミス」や「油断」で大きな犠牲につながってしまいます。

私たちの活動でも過去に大きな事故が発生していると聞いています。それは、約10年前に伐木した大木の直撃を受け腰骨を骨折し入院を余儀なくされた方がいると聞き及んでいます。それ以降大きな事故はないようですが、「常に最悪に備える」という心構えを持ち続けることが長く活動を行う上での必須条件と再認識しています。

これまでの私生活や業務では、鎌やチェーンソー、刈払い機等を使用したことはなく、これらは使用方法によって人を傷つける殺傷力の強い道具で、このような道具を使うこと自体が非日常的であり、また、足場は非常に悪く、「今ここにある危険」と背中合わせであると実感しています。

例えば、大木を倒すときの跳ね返りやチェーンソー、刈払い機、鉋の使用時、更には、ちょっとした気のゆるみや不注意で木の枝で目をつくなど、また、道具の手入れを怠れば切れ味が悪くなり、その分必要以上に力を入れるため事故につながりかねず周りの人たちも巻き込んでしまう。このように、一言でボランティア活動といえどもその内容は常に危険と隣り合わせで非日常的な活動で、最後の点呼で毎事故の報告がなく終了して当たり前。

2. 「基本の遵守」を忘れない

私は、休日のみの参加で、なかなか経験を積むとまではいきませんので、現場では迷惑とは思いつつ先輩たちの傍で見様見真似で作業を行っています。

林業の事故に関して少しネットで調べますと、「伐木作業は非常に危険を伴うもので、その中でとりわけ難しいのが伐倒、かかり木処理。伐倒はただ切った木を倒せばよいという単純なものではなく切った木が倒れる方向をコントロールしなければならずこれが非常に難しく豊富な経験を必要とする。」と記載されていました。事故防止に関しては、各班のリーダーの方が、作業開始直前に揃えるべき道具や必要な指示をされています。不幸にして「最悪」の事態が起こった場合の混乱、悲劇を考えれば、常に最悪の事態を想定してのリスク計算も必要で、そのリスクを最小限に抑える努力が必要です。

活動場所が里山だからと侮り「油断」や「慣れ」で活動に臨めば取り返しのつかないことになり、その悲劇は自分一人ではなく家族にも波及し、更には、活動全体の存続にもかかわってくることをよく理解しつつ、私自身毎回気を引き締ながら基本を遵守し、安全対策を習慣として身に着け、今後とも可能な限り精力的に活動に取り組みたく思っております。



初めての杭打ち作業

***** 目次 *****

P1 序文：～今そこにある危険～（やりがいのある非日常的な活動）
 P2 2024年6月度活動実績表
 P3 活動報告：桜の園、武庫山の森、
 P4～P5 お知らせ・案内：運営委員会報告、廃線跡草刈り案内、こむ1会フェスティバル、
 会員からの投稿原稿送り先、武庫山エコハイク
 P5～P6 櫻守ひろば：スペイン巡礼紀行「北の道」⑦スペインのサクラ（全7回）、
 「姿の見えない鳥との出逢い」
 P6 活動予定表

2024年6月度 活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
5月25日 (土)	桜の園(亦楽山荘) 15名	晴れ	(さくら坂・下部) 刈り払い機・手刈りによる下草刈り	7
			(滝見の道・コナラ林手前) 常緑灌木の間伐他	5
			(シロバナウンゼンツツジ自生地) 周辺の整備他	3
5月26日 (日)	ふらざこむ1 4名	—	こむ1会フェスティバル(訪問者:50名)	4
5月28日 (火)	青葉台	雨	雨天中止	-
6月1日 (土)	ふらざこむ1 8名	晴れ	5月度運営委員会	8
6月2日 (日)	武庫山の森 19名	曇り	(塩谷ルート) 初代ビューポイント周辺の土留めと常緑樹の間伐	6
			(武庫山ルート) ヒメズリハとアラカシの伐採	8
			(入口周辺と広場) 草刈り	5
6月4日 (火)	ふらざこむ1 4名	晴れ	会報印刷	4
6月6日 (木)	桜の園(亦楽山荘) 17名	晴れ	(さくら坂・上部) 刈り払い機・手刈りによる下草刈り	6
			(滝見の道・コナラ林手前) 常緑灌木の間伐他	6
			(赤松～つつじが丘) 枯れ松、枯木、ヤシヤブシ等の間伐	5
6月12日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 17(1)名	晴れ	(赤松植樹地) サクラ周りの除草・間伐	5
			(滝見の道・コナラ林手前) 常緑灌木の間伐他	5
			(東屋から隔水亭間園路) 土留防護柵の設置	4
			(桜の園全域) 来訪者に対する活動地説明その他	3(1)
6月15日 (土)	武庫山の森 16名	晴れ	(宝松苑ルート) 中央分岐付近と大桜1号付近の土留め	6
			(武庫山ルート) 南ピーク周辺で大鋸練習会	10
6月18日 (火)	山手台	雨のち 晴れ	雨天中止	-
6月21日 (金)	ゆずり葉の森	雨のち 晴れ	雨天中止	-
6月23日 (金)	桜の園(亦楽山荘)	雨	雨天中止	-
参加者 計				99

桜の園 (亦楽山荘)

05/25 (土) 初夏の暑さを心配していたが、木陰では爽やかな風もあり作業日和となりました。本日は色々な行事と重なったのか、参加者が少なく作業項目を絞り実施しました。前回に継続して、さくら坂の下草刈り、刈り払い機4台を使用して実施しました。また、滝見の道コナラ林手前の急斜面の森の整備、常緑灌木の間伐を行いました。月末の活動とし、色々な植物の観察を行った後、シロバナウンゼンツツジの保全地周辺の整備を実施しました。

06/06 (木) 各班に充当できるメンバーが何とか集まり3班に別れて活動を実施しました。前回から継続して実施してきた、さくら坂の下草刈り今回も4台の刈り払い機を駆使し急斜面を苦労しながら最上段まで終わらせました。また、滝見の道コナラ林手前の鬱蒼とした森の常緑灌木の間伐も前回に継続して実施しました。赤松植樹地周辺での伐採作業を久しぶりに再会し、大きな枯れマツの伐倒の下準備をメインに、その他倒木の処理を実施しました。

06/12 (水) 本格的な夏の到来か、厳しい暑さの中、熱中症対策としてこまめな水分補給をして作業に取り組みました。また、白鹿記念酒造博物館から学芸員の来訪がありその対応を致しました。赤松植樹地内のサクラの周りの草刈りと灌木の除伐を行い、日当たり風通しの改善を図りました。また、継続して滝見の道コナラ林手前の急斜面の森の間伐を実施し、日差しが入る森としました。園路の安全対策として、東屋・隔水亭間の園路脇に丸太杭・丸太を使った土砂崩れ防護柵を2セット設置しました。(濱野 記)



06/06 さくら坂上段の草刈作業



06/12 赤松植樹地内の間伐



06/12 土砂崩れ防護柵の設置

武庫山の森

6/2 (日) 作業の前後に雨が降ったので、一日作業ができたのは幸運でした。ビューポイント周辺の土留めの継続作業は無事終わり、午後からは周辺の常緑樹の間伐をしました。南ピーク周辺のヒメユズリハとアラカシの伐採をチェーンソーとチルホールを使用して行いました。周辺の常緑樹の間伐もしましたが、次回以降も継続します。入口と広場の草刈りの継続作業をして育苗地広場の草刈りも行いました。

6/15 (土) 梅雨前でもモリアオガエルはすでに産卵しオタマジャクシも泳いでおります。中央分岐付近と大桜1号付近の土留めをしました。崩れやすい斜面でもあり木杭も使って杉板を固定し、石を集めハンマーで砕きながら詰めて仕上げております。南ピーク周辺で中程度の木を利用して大鋸練習会を実施しました。ベテランが新人に倒す方向の見極め方、受け口と追いの切り方を説明しながら、大鋸を使った伐採を経験していただきました。



伐採したヒメユズリハの処理



モリアオガエルの卵塊



中央分岐付近の土留め

武庫山の森では7月から9月の3ヵ月間は作業を午前中で終了します。(横山 記)。

運営委員会報告 (2024年5月度)

代表 近藤 茂

2024年6月1日(土) 9:00~11:30 ぷらごこむ1

1. ゆずり葉の森 道標類抜き取られ・・・5月23日に基礎をコンクリートで固めた“行者山ハイキングコース図”1本が抜き取られていることを発見した。非常に悪質であり、直ちに関係先(宝塚警察署、阪神北県民局、設置者団体)に通報した。当該コース図は6月1日に当会の手で復旧した。
2. 総会で出された質問・意見等の検討
 - ① 環境学習の対象学校が減少している。もっと増やすように働きかけるべきでないのか！
 - ・新たに対象学校を増やすのは、種々の制約があって難しい。
 - ・子供や地域に密着した活動を重視している“まち協”などにコンタクトし、活動地で行えるイベントを工夫した方が実情に合っている、との結論に達した。
 - ② 使用しているヘルメットは支給して貰って以来、一度も交換していない。耐用年数が切れているのが多いと思うが大丈夫か？
 - ・日本ヘルメット工業会やメーカーでは5年で交換を推奨しているが、企業やボランティア団体が5年で交換している例は殆どないようである。ヘルメットの劣化は使用環境によって異なるため、一概に年数のみで交換を規定することは難しい。
 - ・活動開始前にヘルメット本体の割れや凹みがないか、内装品に異常がないか点検することを実施し、異常があれば交換する。併せて剪定鋏とノコギリについても異常の有無を点検するようにする。
 - ③ 会員はすべての技術を身につけることが好ましいが、実情は本人任せである。新入会員が経験すべき作業内容を設定し、ベテランが指導するような仕組みを作ってはどうか。
 - ・作業現場で行っている全作業を周知していない会員がいるのが実態である。全ての作業を記載した“技術の習熟度チェックリスト”により自己診断を行い、各自で習熟目標を定めるようにする。できるだけ早く“技術の習熟度チェックリスト”を完成させ、会員に配布する。
 - ・活動日の朝礼の作業メニューの説明時に、未経験又は習熟不足の作業班に積極的に入る様に働きかける。また各作業班では、リーダーやベテランが未経験者を積極的に指導するように進める。
3. 武庫山の森 樹林管理計画・・・樹林管理の知識・経験の深い佐々木宏二さん(2024/4/10入会)より、武庫山の森にて樹林管理を行う意義と現状の課題についての説明と提案があった。討議の結果、まずどこにどんな樹木があるのか主要樹木の実態調査から開始し、森の全体像を把握することにした。

廃線跡草刈のご案内

運営委員会

本年度2回目の廃線跡草刈を、下記日程で行います。前回同様に、4班体制で8台の刈払い機を使います。草木の成長が活発な時期で、しかも暑さがピークの時期でもあり、熱中症に気を付けながらですが、13時半頃までを想定しています。弁当持参のうえ、多数のご参加をお願い致します。

日時：8月1日(木) 9:50(親水広場集合)～13:30終了目途

なお、天候による作業の可否判断は、通常活動と同じです。中止の予備日は8月8日(木)です。

こむ1会フェスティバル

丸山 博

5/26(日)「こむ1会フェスティバル」が行われました。今年は第8回で400名余りの参加があったそうです。屋台の飲食、物品販売、各部屋ごとのボランティア活動等の紹介が行われました。

櫻守の会は、2階のブースでパネル等を使って活動の紹介を行い、50名ほどの方が訪れました。会話をする中で150年前の明治時代に使われた日本最古の双頭型レールが桜の園の倉庫の傍らに眠っていることを聞き、驚きました。来年のフェスティバルには、皆さんもぜひご参加ください。



会員からの投稿原稿の送り先

運営委員会

会報の「櫻守ひろば」では会員皆様からの投稿を歓迎しています。しかしながらこれまで原稿の送り先を明記していませんでしたので、ご迷惑をおかけしてしまいました。内容は何でも構いませんので、今後 投稿原稿は“代表”宛にお送りください。現在の代表は 近藤 茂 です。

メールアドレス：kondo3410@suisui.ucom.ne.jp 又は konkon1253@yahoo.co.jp

住所：会報の1ページに記載しています。

武庫川エコハイク

7月、8月の活動は休止致します。

櫻 守 ひ ろ ば

スペイン巡礼紀行「北の道」⑦スペインのサクラ (全7回)

瀧本 浩一

スペインの春は2月初めのアーモンドの花で始まり、サクラは3月下旬から4月上旬に咲く。残念ながら花 Cherry blossom(s) の季節に巡礼路を歩いたことはないの、殆どインターネットの受け売りである。観賞用ではなく、食用のセイヨウミザクラ (甘果桜桃) が殆どである。大きさがちょうどよいことから公園や庭木として観賞用に使われることも多い。

巡礼宿で、「おまえは何をしている？」とよく尋ねられる。「年金生活者 retired man で、日本の桜の木の野生種を保護するボランティア活動をしている volunteers to protect wild species of Japanese cherry trees」と知ってる単語を並べると「素晴らしいじゃないか！」と褒めてくれる。説明不足の部分は、櫻守の会のHPの写真が役に立つ。

「私は大阪と神戸の近くに住んでいる。京都や奈良も近いよ。セレッソ大阪とインエスタがプレーしていたヴィッセル神戸というプロサッカーチームが近くにある。日本は『桜 Cerezo (セレス)』の国だ。セレッソ大阪はスペイン語の Cerezo (セレス)だよ・・・」話が盛り上がり、変な髭面のじいさんは、知らず知らずのうちに観光大使になっていく。

少し脱線するが、スペインの国花は、「カーネーション」。十字架にはりつけられるキリストを見送った、聖母マリアの目からこぼれた涙の跡に生えてきたという伝説があって、母性愛の象徴ともされているそうだ。さすがにカトリックの大国である。

6月になるとメルカド (市場) や街の果物屋の店先に新鮮なサクランボが並ぶ。セイヨウミザクラの子孫である佐藤錦に比べると5ユーロ/kgくらいで安く買える。生で食べても美味しいが、ジャムや果実酒に加工して食べることも多いので、地元の人々は1~2 kg とごっそり買って行く。

巡礼路を歩いているとサクランボの木 Cherry tree が目に付く。樹皮の横縞と葉の特徴でサクラと分かるが、6月末だったのだからサクランボ Cereza (セレス) は収穫後のようだった。異国にあって日本を思い出し、花や実はないけど心が和む。



サクラの木に渡したテーブル



果物屋の店頭のチェリー €4.95/kg



整然と植えられたセイヨウミザクラ



ヘルテ溪谷のあるカレス県

スペインの桜の名所の一つにヘルテ溪谷の桜（カセレス県）がある。北緯40度、マドリード、ナポリ、ニューヨーク、サンフランシスコ、北京、秋田市と同じくらいの緯度にある。150万本以上の200種の桜が開花し、2000メートル級の山々に囲まれた谷の斜面が真っ白な風景に包まれるそうだ。地元の村々では春の桜祭りが開催される。チャンスがあれば想像を絶する景色を一度眺めてみたい。

.....

「姿の見えない鳥との出逢い」

大形百合子

ツツドリ（筒鳥）をご存知ですか？ 5月25日桜の園の活動日。チームの3人とどんぐりの道を植物を観察しながら歩いていると、どこからか「ポポポポッ」くぐもった低い鳴き声の様な音が聞こえた。

静かな森の中で良く響く不思議な音。「声の主は？」と聞くと、前を歩いていた先輩が答えて曰く「ツツドリではないか…」早速帰って調べてみた。ツツドリはカッコウ科の鳥でアジア大陸に分布。日本には4月下旬から5月下旬に東南アジアやオーストラリアから渡来する夏鳥。ホトトギスと姿、形は似ていて一回り大きい。鳴き声は筒を叩く様な声で泣くからツツドリ。託卵性の鳥でセンダイムシクイ等に托卵してヒナを育ててもらおう。驚く事に、托卵する相手によって斑点やチョコレート色等と卵の様様や色を変えると超絶技を持っていると！餌は主に毛虫類で他が食べない大きな長い毛の毛虫がお気に入り。毛虫の多い桜の木でみる事があるらしい。餌の多いこの山にも来ているのだと納得した。



樹が高い桜の園の山で姿を見るのは難しいが、もし見たい方は秋の渡りの前9月頃公園の桜の木で出会う事も有るので行って見ては。色はオレンジ系黄色、目の周りに黄色のアイリング、白黒横縞のチョッキを着てるキジバト大のお洒落な鳥です。山で耳を済ませてみてください。姿は見えなくても色々想像するだけで楽しくなります。多くの種類の植物、鳥、虫が住む山は健全なのだと感じました。

活動予定表 (7月・8月)

月別行事予定表

7月			場所等	8月			場所等
7月 3日	水	桜の園(亦楽山荘)	8月 1日	木	廃線跡草刈り		
7月 5日	金	ゆずり葉の森	8月 4日	日	武庫山の森		
7月 7日	日	武庫山の森	8月 6日	火	桜の園(亦楽山荘)		
7月 11日	木	桜の園(亦楽山荘)	8月 8日	木	廃線跡草刈り(予備日)		
7月 16日	火	山手台	8月 15日	木	桜の園(亦楽山荘)		
7月 20日	土	武庫山の森	8月 17日	土	武庫山の森		
7月 25日	木	青葉台	8月 20日	火	山手台		
7月 27日	土	会報印刷・運営委員会	8月 23日	金	ゆずり葉の森		
7月 28日	日	桜の園(亦楽山荘)	8月 25日	日	桜の園(亦楽山荘)		
			8月 28日	水	青葉台		
			8月 31日	土	会報印刷・運営委員会		

集合時間：桜の園（亦楽山荘） 親水広場9時50分、武庫山の森9時50分、他の3活動地は9時30分。
天 候：当日朝 6時55分NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

【編集後記】 6月は雨にたたられ雨天による中止が4回にもなりました。次回活動時の草の伸び方が気になるところです。最近、あちこち痛めて活動をお休みする方のお話をよく耳にしています。これから暑さに向かい体調を崩しやすい季節でもあります。皆さん、体調に気を付けて過ごしましょう。 (坂田)